

令和7年度 府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①「書くこと」において、目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ②事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ③思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすること。	①書く目的や意図を明確にし、効果的な方法を判断しながら、文章のどこを詳しく、簡単に書けばよいかを検討して、工夫できるようにさせる。【決定】【表現】 ②説明文や物語文の読み取りを丁寧に行い、事実・感想・意見などの関係を確かめた上で、互いの読み取ったことを伝え合わせ、理解を深めることができるようにさせる。【対話】 ③「言葉の宝箱」などの資料を活用して、接続詞や文末表現などを用いて思考に関わる語句を文章の中で使い、類義語や対義語など語句と語句の関係などへの理解を通して、豊かな語彙を育てる。【発見】	B	B
算数	①問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるようにすること。 ②図形の性質を理解したうえで、それを生かしながら作図できるようにすること。 ③自分の考えを絵や図などを使って説明できるようにすること。	①教科書の問題を解く際に、それぞれの数量がもつ意味に着目し、見通しを確かめてから解決できるようにさせる。【発見】 ②図形の性質と作図法のつながりを理解し、実感を伴って作図できるようにさせる。【発見】 ③図や表を用いて自分の考えをもち、他者と対話を通して理解を深められるようにさせる。【表現】【対話】	B	B
理科	①問題に対するまとめを導き出す際、解決するために必要な実験の方法を考え、表現すること。 ②観察や実験結果をもとに分かった事実から考察すること。 ③実験器具の名称や使用方法を正しく理解すること。	①授業の中で、問題を解決するために必要な実験方法を考える時間を確保し、各自がノートに表現できるようにさせる。【表現】 ②結果と考察の違いを明確に指導する。考察は「結果から考えられること」とし、話し合いながら考察を立てられるようにさせる。【対話】 ③実物を用いて名称を確認したり、各時間の授業を展開したりする。【発見】	B	A
社会	①日本の国土の地理的環境の特色と産業、情報との関わりについて、資料を適切に読み取り、そこから考えられる課題を見付けること。 ②自分たちで見つけた課題である学習問題を解決するために計画を立て、単元全体のイメージをもって児童が主体的に学習を進めること。 ③社会的事象や課題について実生活と結び付け、これからの自分たちの行動や生活の仕方について考え、言葉として表すこと。	①資料の内容を精選したうえで、提示の仕方を工夫し、児童が学習内容に沿った課題意識をもてるようにさせる。【発見】 ②問題を解決するための方法について予想を基に対話を通して考え、計画につなげる。計画の全体像を確かめることで、単元全体のイメージを児童がつかめるようにさせる。【決定】【対話】 ③社会的な課題について、考えたことを議論できる活動を取り入れる。【表現】【対話】	B	A
音楽	①声の出し方を意識して、響きのある声で歌うこと。 ②曲想にふさわしいリコーダーの演奏方法を工夫すること。	①呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある声で歌うことに慣れさせる。【表現】 ②曲の特徴にふさわしい息の使い方やタンギングなど、リコーダーの演奏の仕方を工夫する活動を取り入れる。【対話】	A	A
図画工作	①様々な表現技法を経験し、自身の表現の幅を広げること。 ②作品のテーマや構成を、作例に頼らず、自分自身の興味関心や思いを基に、自分自身で決定すること。	①各題材における様々な表現技法について、その良さを感じながら習得できるように指導すると共に、これを活用できる場面を他の題材内で設定する。【表現】 ②全体への作例提示を止め、必要な児童に適宜提示すると共に、自分自身の興味関心を振り返る時間を設け、これを基に作品のテーマを決定できるように指導する。【決定】	B	A
家庭	①体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて実践力を身に付けること。 ②生活の中から課題を見だして、工夫し、考え、課題を解決しようとする。	①調理や制作等の手順の根拠を友達と考えさせたり、ICT を効果的に活用したり、子供たち同士で教え合わせたりしながら、技術を身に付けさせる。【対話】 ②問題解決的な学習を設定し、個人又はグループで発表し合う機会をつくる。【対話】【表現】	B	A

令和7年度 府中市立矢崎小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

体育	①体全体を上手に使いこなすこと。 （R7 体力テストの結果より、走力・筋力・瞬発力を中心に） ②動きのこつを理解して練習すること。 ③自己の課題を把握し、練習方法を選ぶこと。 ④自己の課題解決の活動を振り返ること。	①単元導入前の体づくり運動を充実させ、基本的な動きを身に付けさせる。【発見】 ②各単元の始めに身に付ける動きとこつを掲示物やICT 機器を用いて提示する。【発見】 ③課題に応じた練習方法を一人一人が選べるような場を設定する。【決定】 ④見合ったり、動画で撮影してもらったりして、自己の動きの変容に気付かせる。【発見】【対話】	B	A
外国語	①意味を考えながら外国語を聞こうとすること。 ②学習した語句や表現を用いて主体的に友達とコミュニケーションを図ること。	①ジェスチャーや授業者の表情をもとに想像しながら聞く習慣を身に付けさせる。【発見】 ②毎回の授業で対話的な活動を取り入れる。【対話】	B	B

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。